

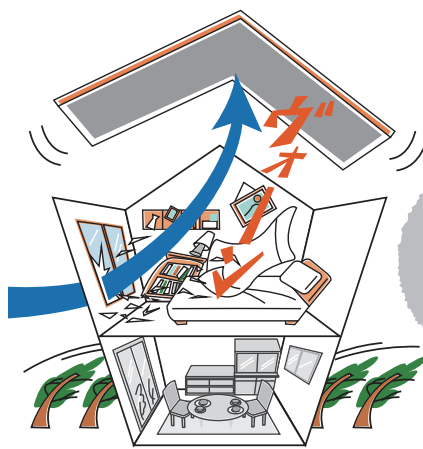


テーマ

台風がくる前に!

# 備えのポイントは「窓」

雨戸やシャッターがないとどうなるの?



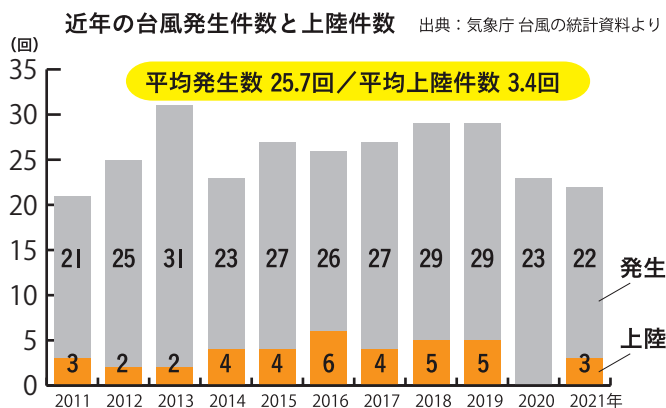
ガラスが割れると防犯も心配!



- 風で吹き飛ばされたものが窓に直撃しガラスが割れると、その破片が凶器になって大けがに繋がる恐れがある
- 窓ガラスが割れることで強い風が室内へ一気に流れ込み、屋根が吹き上がってしまうという危険性がある

みなさんのおすまいで、台風への備えはできていますか? 突然やってくる天災は、事前にどれだけ準備できたかが重要です。気象庁の「風の強さと吹き方」によると、平均風速20~25m/s(瞬間風速30m/s)以上で細い木の枝が折れ、看板が落下・飛散、屋根瓦や屋根葺き材が飛ぶ危険性があります。まずは「窓」をポイントに対策をしてみましょう。

## 台風シーズンの前に準備できれば家族も安心



毎年やってくる台風ですが、2011年以降の平均発生回数は25.7回。台風が多い年は年6回も上陸していました。台風の被害が起きた後、屋根瓦の破損やガラスが割れたまま次の台風がきてしまうと被害はさらに広がる危険があります。7~10月の台風シーズンの前に、あらためて身の回りをチェックして、家族とすまいを守る台風対策をしておきましょう。

おすすめ対策は裏面へ!

# おさらいしよう 台風前のあんしん窓対策

台風や強風はいつやってくるかわかりません。ですが、事前に準備や対策をすることは可能です。台風シーズンになる前に、家の周りでどんな危険性があるかもしっかり把握しておきましょう。

## 飛ばされると危険な物を 家の中にしまう

最近の窓ガラスは強風（風圧）だけで割れる心配はほとんどありません。ガラスが割れる多くの原因は、風で飛ばされた飛来物の衝突によるもの。台風や強風がくる前に普段家の外にある植木鉢やゴミ箱、自転車などは、家の中や倉庫にしまうか固定しましょう。



## シャッターや雨戸で 窓の安全性を強化

シャッター・雨戸がある家は、しっかり閉めておきましょう。飛来物が当たった際も窓ガラスが割れるのを防いでくれます。後付けのシャッターや雨戸は1日で取り付けられ防犯対策にもおすすめです。

## 窓を強化して 飛来物に備える

シャッター・雨戸が設置しづらい窓は「防犯合わせ複層ガラス」がおすすめ。ガラスの間に特殊な金属膜を挟み込みガラスが割れにくいだけでなく、万が一ガラスが割れてもガラスの破片が飛散しにくいので安全です。養生テープの対策はガラスの飛散が防げないので注意が必要です。

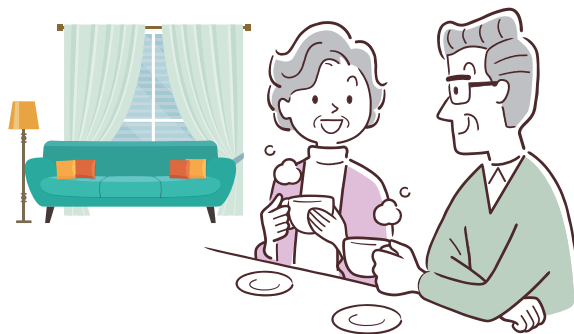
養生テープを貼った場合



衝突前



衝突後



あらかじめ備えて台風時の  
不安を軽減しましょう

## 強風や台風から住まいを守る、窓リフォームはこちら！

### 比べて納得！防災効果

飛来物を想定した実験結果を  
動画でチェック▶



リフォームシャッター

リフォームシャッターなら、既存の窓に外壁の上から簡単に取り付け。防犯性向上と台風対策ができます。電動タイプ、採風タイプ、耐風タイプなども選べます。

1窓あたり  
約1時間～



取替雨戸パネル 標準タイプ

今ついている雨戸パネルを最短2時間で簡単取り替え。台風の時に飛来物から住まいを守ります。ほとんどのメーカーの雨戸パネルと交換ができます。

1窓あたり  
約2時間～

お問い合わせはお気軽にどうぞ！

supported by PATTOリクシル マド本舗